



# あなたの「ちょっととした困りごと」を たすけ隊！

矢巾町 流通センター地域「たすけ隊」



ありがとうポイントカード



商品券「ありがとうと賞」

一人ぼっちをつくらない  
新たな縁を生み出す  
たすけあい隊

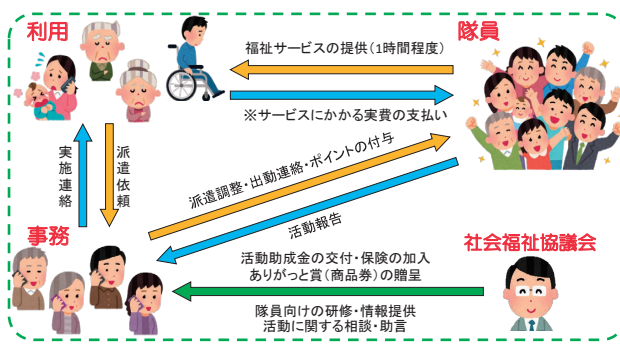
40〜50年前と比べ、便利な世の中になり、生活スタイル、働き方、人づき合いが大きく変化しました。健康であるうちや働いているうちは、誰かに頼らなくても生活はできます。しかし、高齢になったり、健康を維持できなくなり、困りごとが出てきた時、どこにも頼ることができないと一人ぼっちで抱え込むことになってしまいます。

矢巾町社会福祉協議会（以下、「町社協」と表記）では、一人ぼっちをつくらない地域のつながりを作っていくため、地域のつながりをよく知る住民の力を借りようと町内にある老人クラブ等に働きかけ、平成27年に「矢巾町日常生活たすけあい隊」（以下、「たすけあい隊」と表記）を立ち上げました。

利用者は「助かる」  
隊員は「生きがい&活動1回1ポイント」の仕組み

町内では現在、8地域でたすけあい隊が活動しています。たすけあい隊には事務局を置き、支援が必要な住民（利用者）からの依頼を受け付け、隊員への連絡や派遣等を行います。隊員には活動1回につき「1ポイント」が付与され、「10ポイント貯まれば、町社協で商品券「ありがとうと賞」と交換することができます。自分ができることを活かした活動は、隊員の生きがいづくりや健康づくりにつながり、利用者は困りごとが解決するWin-Winな仕組みになっています。

「たすけあい隊活動助成金」や「ありがとうと賞」には、町社協に寄せられた寄付金等による福祉基金を活用しております。



り、寄付金が地域福祉の推進に還元される仕組みとなっています。

一人でも「たすけ隊」を求め  
る人がいればその期待に応え  
たい

流通センター地域の「たすけ隊」(隊長 藤原雅秋さん)は、平成27年に発足し今日まで活動を継続しています。今ではその活動が地域で浸透し、口伝え等で住民から依頼が来ます。住居の掃除、照明器具の交換、病院の付き添い、庭木の剪定、ゴミ運び、除雪、草刈、話し相手など、ちょっとした困りごとから大きな作業まで様々な活動を行っています。隊員は70歳〜84歳の8名で、昨年度は71回活動しました。

たすけ隊の初代隊長を務め、現在は隊員として活動を続けている蒔田稔さんは、「隊員は高齢になっていますが、依頼内容は身の丈以上の大きな活動が増えていきます。これからは、幅広く様々な方からの依頼を受けられるように工夫が必要ですし、今まで積み重ねてきた我々の思いを理解し活動してくれる後継者の育成も必要です。たすけ隊を若



たすけ隊の活動の様子 (住居の掃除、片付け)



左は流通センター地域「たすけ隊」、右は他地域のたすけあい隊のベスト

返らせて、依頼をしてくれる方が一人でもいる限り活動を続けていきたいです。」と意気込みを語ってくれました。